



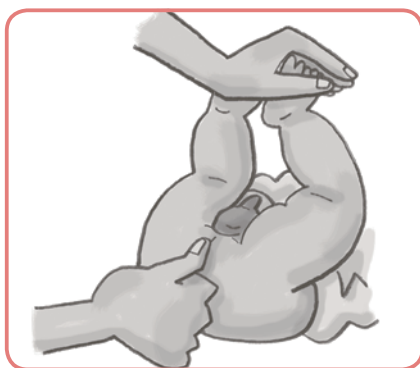
坐薬の使い方

坐薬を使う目安は、熱が 38.5℃ 以上になったときです。ただし熱が高くても、機嫌がよく元気なときや寝ているときは、使う必要はありません。お子さんの症状や様子を見て使ってください。



体重によって1個では多い場合には、例えば1/2個など、坐薬の量を調整するよう医師から指示があります。そのときはハサミやカッターで坐薬を切って、先のとがった方を使ってください。カッターをお湯で温めておくと切りやすくなります。

- ① 小さいお子さんの場合は、仰向けに寝かせて足を上げ、肛門に坐薬のとがった方を入れてください。
- ② 入れた後、坐薬が出てしまうことがあります。30秒～1分くらい肛門を軽く押さえてください。ティッシュペーパーを使って押さえてもいいです。



● 冷たさや刺激があるとき

冷蔵庫から出して、しばらく置いて室温にするか、手のひらで温めてください。

● 入りにくいとき

坐薬の表面に水またはオリーブオイル、ベビーオイルをつけると滑りやすくなり、肛門に入れやすくなります。

● 便と一緒に坐薬が出てしまったとき

挿入後すぐに便と一緒に坐薬が出てしまった場合は、もう一度同じ坐薬を入れてください。挿入後30分以上たっていれば、ほとんど吸収されていますので、そのまま様子を見てください。